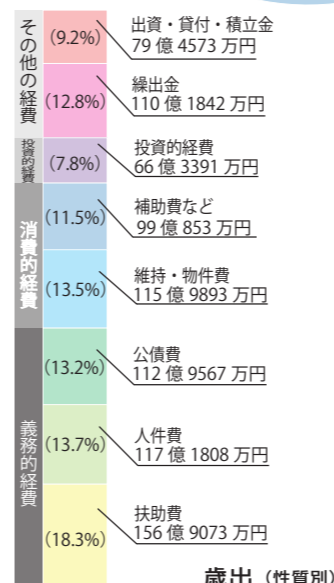
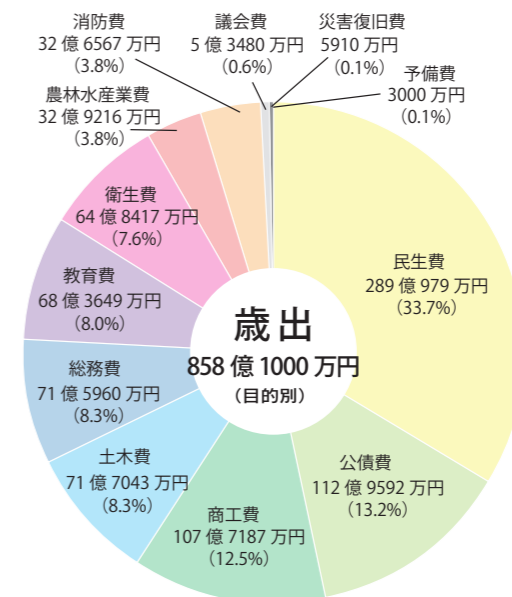
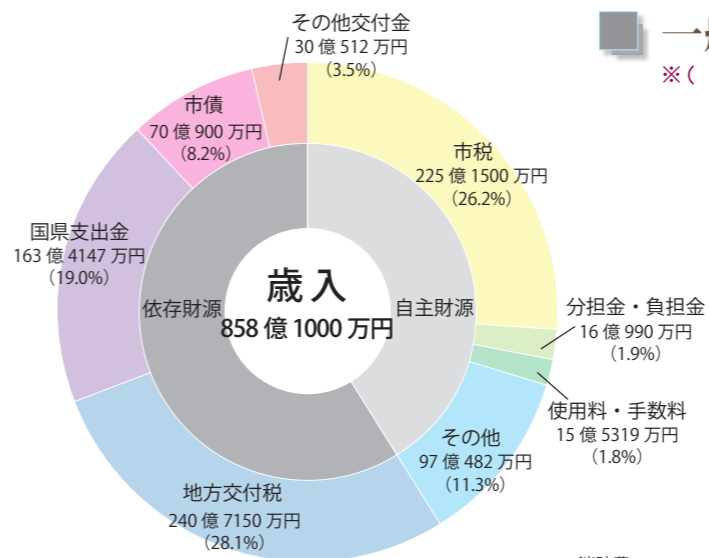


次の時代を創る「前進予算」

問い合わせ先 本庁舎行財政改革課 ☎0857-20-3111

一般会計

※()…構成比



特別会計

会計区分	予算額
土地区画整理費	3億1889万円
簡易水道事業費	14億2783万円
公設地方卸売市場事業費	3636万円
駐車場事業費	2508万円
国民健康保険費	201億8363万円
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費	671万円
住宅新築資金等貸付事業費	5352万円
土地取得費	109万円
墓苑事業費	2669万円
介護保険費	169億4682万円
財産区管理事業費	645万円
温泉事業費	5659万円
観光施設運営事業費	6968万円
介護老人保健施設事業費	8181万円
後期高齢者医療費	18億2809万円
計	410億6924万円

企業会計

会計区分	予算額
水道事業	57億2565万円
工業用水道事業	2020万円
下水道等事業	150億7697万円
病院事業	89億4754万円
計	297億7036万円

重要課題

庁舎整備の推進

①庁舎整備調査検討業務等(1408万円) など



鳥取市庁舎整備専門家委員会



企業誘致促進貸付型工場

地域経済の活性化と雇用対策の強化

- ①企業誘致促進貸付型工場設置補助 (3億8000万円)
- ②河原インター山手工業団地分譲推進事業 (5億2989万円)
- ③「快適・環境都市鳥取」雇用創造プラン人材育成研修受講奨励金、企業が求める人材確保推進事業 (2621万円)
- ④小規模事業者の財政負担軽減のための利子補給制度 (マル経融資) の創設 (224万円)
- ⑤LED商品の優位性を高める試験費等の産業活性化事業に助成 (450万円)
- ⑥鳥取市UJIターン若者就職奨励金、地元大学等卒業生就職奨励金 (3930万円)
- ⑦環日本海交流の推進 (環日本海経済交流サポートセンター (仮称)、国際観光物産センターの開設) (4717万円) など

にぎわいと交流のあるまちづくり

- ①看護師等養成機関設置事業、看護職員実習指導者養成支援事業 (480万円)
- ②戎町にぎわい創出拠点整備事業 (1億5150万円)、まちなか個人住宅取得支援、空き家等対策助成 (350万円)
- ③世界初の常設施設で「砂像のまち鳥取」の推進 (2億1608万円)
- ④「全国都市緑化とっとりフェア」の開催 (3億7987万円)
- ⑤エンジン02鳥取開催事業、大伴家持和歌CD制作事業 (900万円)
- ⑥100円循環バス「くる梨」緑コースの新設など (2365万円)
- ⑦JR鳥取駅バリアフリー化に伴うトイレ改修補助 (1650万円) など



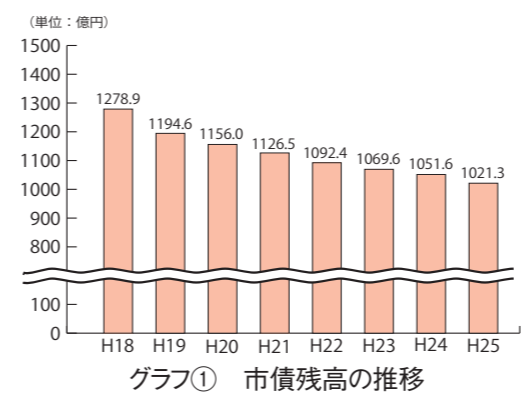
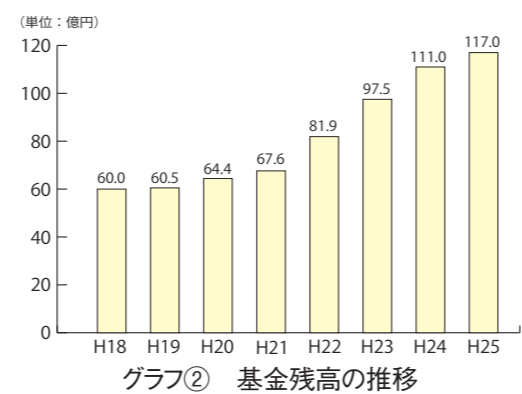
全国都市緑化とっとりフェア200日前イベント



砂の美術館第6期展示

安全・安心で豊かな市民生活の確保

- ①子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌予防接種費の全額公費助成継続と子宮頸がんの対象拡大 (対象学年の開始時期が中学校1年生から小学校6年生へ拡大) (1億9962万円)
- ②鳥取消防署東町出張所移転整備事業 (1億2610万円)
- ③専任の学校図書館司書を全校に1名配置 (1億626万円)
- ④民間の保育環境の充実を目的に3歳児対応保育士追加配置へ助成 (1670万円)
- ⑤生活保護受給者への就労支援など適正実施推進事業 (3356万円)
- ⑥住宅用自然エネルギー導入補助金の単価を増額 (1億4425万円)、メガソーラー推進 (2560万円) など



今年度当初予算の特徴

平成25年度は、国の2012年度補正予算(緊急経済対策)に呼応して、25年度以降の投資的経費25億7488万円を24年度2月補正予算に前倒して計上し、25年度予算858億1000万円と合わせた実質的な当初予算は883億8488万円、5年連続の増額となり平成16年の合併後最大の規模となりました。

また、第9次総合計画の3年度目当たり、前期実施計画の最終年度として、まちづ

着実に前進させる予算

歳出面では、「庁舎整備の推進」「地域経済の活性化と雇用対策の強化」「にぎわいと交流のあるまちづくり」「安全・安心で豊かな市民生活の確保」といった4つの最重要課題を克服するための取り組みを積極的に盛り込み、本市の将来にわたる持続的発展を目指しています。

財政の健全性

市税収入は大幅に減少(対前年度▲11億円)しましたが、計画的に行ってきた行財政改革により、人件費や公債費を減少させ義務的な歳出を抑制する一方で、有利な国庫補助金などを活用することで政策課題の解決に必要な予算を確保しています。

さらに、年度末市債残高の縮減や、計画的に積み立ててきた基金も第9次総合計画の残高見通しを大きく上回り、市債残高(グラフ①)は7年連続で着実に減少し、基金残高(グラフ②)は8年連続増加しており、財政の健全性は前進しています。

くりのビジョンや目標の達成のため、計画期間内の重点的な取り組みを着実に前進させていく重要な年であります。

平成25年度の当初予算は、財政の健全性を向上させつつ、中長期的視野で、今やらなければならぬことを着実に前進させる「次の時代を創る」前進予算としていきます。